

諏訪湖活用拠点(水上防災拠点・艇庫)の建設工事に着工

下諏訪町諏訪湖活用拠点(水上防災拠点・艇庫)については、湖畔の健康スポーツゾーン構想プロジェクトの答申をもとに、基本設計に引き続き、詳細な仕様を決定する実施設計を進めてきました。

このたび、無事建設工事に着工しました。施工に際しては、騒音、工事車両の通行などに十分配慮し、安全第一を優先に進めます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

諏訪湖活用拠点(水上防災拠点・艇庫)概要

●建設場所

下諏訪町10615番地45ほか
(東赤砂) (錬成の家前)

●敷地面積 2701.22㎡

●延床面積 999.73㎡

●建築面積 845.69㎡

●構造 鉄骨造・地上2階建て

●その他

疲労回復施設(足湯) 1棟

栈橋 3基



《完成予想イメージ》

※CGによるイメージであり、実際とは異なる場合があります。

整備方針

- ・艇庫を諏訪湖側へ移設し、ボートを湖に出す際に車道を横断する頻度を大幅に減らし、安全性を高める。
- ・ボートの収容数を十分に確保する。
- ・憩いの場として、ボート関係者以外でも景観が楽しめる施設にする。
- ・周辺環境、景観に配慮する。
- ・歩道、ジョギングロードは建物の北側へ移設し、接触事故を防ぐ。
- ・大規模災害で道路が寸断された場合などに、船で湖上を人員や物資を運ぶための拠点として整備する。

●機能概要

	厚生棟	艇庫棟	外構
塔屋	屋上(展望スペース)	—	<ul style="list-style-type: none"> ・眺望が楽しめる足湯 ・栈橋: 3m×12m 2基 3m×18m 1基 ・艇庫前は艇の調整用にも使える広場 ・スロープは芝生加工
2階	災害対策本部室、 事務室、放送室、 女子更衣室兼要支援者個別対応室	艇庫 収容数: 135艇	
1階	公衆トイレ、防災倉庫、電気室、 男子更衣室兼要支援者個別対応室		

これまでの経過

◆工事説明会

令和元年7月5日(金)に下諏訪町総合運動場スポーツコミュニティセンターにおいて、建設工事説明会を行いました。

町および施工業者から、住民の皆様には施設の概要、工事の施工計画などについて説明しました。

◆建設工事 地鎮祭・起工式

令和元年7月23日(火)、建設地において工事関係者などが参列し、地鎮祭と起工式を行い、工事の安全を祈願しました。



諏訪湖活用拠点が目指す姿



●湖畔の健康スポーツゾーン構想 西の拠点

町では、町民のみなさんが、健康増進を実践できるエリアとして、高木から赤砂崎までの諏訪湖畔と総合運動場を「健康スポーツゾーン」と位置づけています。

今回の諏訪湖活用拠点は、健康スポーツゾーンの西の拠点として、町民の皆さんがボート・カヌーをはじめとする諏訪湖でのスポーツを楽しむ拠点として、さらには諏訪湖でのアクティビティを観光にいかすための施設を整備するものです。

また、現艇庫については、艇を湖へ運搬する際には艇庫前の町道を横断しなければならないため、以前からその危険性が指摘されていましたが、今回、諏訪湖側へ移設することで、特に利用頻度の高い県内ボート部の学生について、車両との接触の危険性を大きく減らすことができます。

●水上防災拠点の機能

平成18年7月の豪雨災害においては、諏訪湖周辺の道路が37時間にわたって利用できませんでした。そのような状況を鑑み、大規模災害により道路利用ができない場合には、その代替路となる「湖上搬送」が重要な役割を担います。

災害の際には、救助船等が着岸し、諏訪市や岡谷市側へ人や物資の輸送が可能となる機能を持たせます。

また、ゲリラ豪雨などの際には、湖岸にいる方が緊急避難できる場所にもなります。

●景観への配慮

諏訪湖活用拠点の外観は、周辺環境にマッチした、諏訪湖や連なる山をイメージしたデザインが特徴です。

また、屋上や足湯からは景観が楽しめる憩いの場として整備を進めます。

スケジュール

令和元年度									令和2年度	
7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
解体 仮設工事									検査・ 引渡	供用開始 引越し
建物工事										
			足場工事				栈橋工事、舗装等			

■問い合わせ 下諏訪町 教育子ども課 スポーツ振興係 電話27-1111 (内線702)